

## 6. 研究全体構想図

### 本校の教育目標

・ じょうぶな子ども ・ 助けあう子ども ・ 考える子ども ・ やりぬく子ども

児童の実態	国語への興味・関心があり、読書や音読に進んで取り組むことができる。しかし、語彙が不足しているため、正しく読み取ることができなかつたり、教材を読み取ることにより苦手意識を感じたりしている児童がいる。
教師の願い	・ 語彙を豊かにしたい。 ・ 文章の構成を理解し、内容を正しく読み取ることができる児童を育てたい。

### 研究主題

## 学習の楽しさを味わい、主体的に学ぶ子どもの育成

～説明的文章の読みを通して思考力を高める国語科学習指導の工夫～

### 【研究仮説】

説明的文章の授業づくりを通して、「言葉による見方・考え方」を豊かにし、子どもが言葉や言葉同士の関係に着目して、意味付けを図るようにする。加えて、言葉へのこだわりをもたせ、筆者の意図を理解させる。このような言葉の力を育てていくことで、確かな読みの力を身に付け、豊かに思いを表現する子どもの育成ができると思う。

### 【研究主題の具体化の手だて】

- 叙述の解釈
- 言葉へのこだわり
- 音読を効果的に取り入れる
- 資料提示読み
- 辞書の活用
- 児童の実態把握と教材研究

### 視点 1

### 視点 2

興味・関心のもてる単元づくりの工夫	学習展開の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の関心を高める指導計画の工夫</li> <li>・ 児童に明確なゴールの見通しイメージをもたせる学習計画の提示の工夫</li> <li>・ ICT の活用や実物投影等、教材提示の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正確に理解し適切に表現する資質・能力を育ていく学習展開の工夫</li> <li>・ 課題設定の工夫、発問計画、児童の考えを引き出す工夫</li> <li>・ キーワードとなる言葉や文章を見付け、主体的な活動を生み出す指導の工夫</li> </ul>

### 【日常的な取組】

- 今月の詩：詩の校内掲示⇒文字に触れ、交流する場としての環境づくりを進める。
- 読書活動の取組：朝読書、ボランティアによる読み聞かせ⇒自主的な読書活動へ。
- ユニバーサルデザインの取組：学習環境づくり⇒板書や掲示物の文字の大きさ、色、配置、情報量などに配慮する。

### 【めざす児童像】

低学年部会	時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる児童
中学年部会	段落の中心となる語や文を捉え、段落の相互関係に着目しながら、自分の思いや考えとその根拠について主体的に考えることができる児童
高学年部会	事実と感想、意見等との関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる児童